

# 令和2年第4回 飯塚市議会会議録第1号

令和2年7月21日（火曜日） 午前10時00分開議

## ○議事日程

日程第1日 7月21日（火曜日）

第1 開 会

第2 会期の決定

第3 議案の提案理由説明、質疑、委員会付託

- 1 議案第86号 令和2年度 飯塚市一般会計補正予算（第6号）  
（ 総務委員会 ）
- 2 議案第87号 令和2年度 飯塚市学校給食事業特別会計補正予算（第2号）  
（ 福祉文教委員会 ）
- 3 議案第88号 契約の締結（飯塚市新体育館等建設（空調設備）工事）  
（ 協働環境委員会 ）

## ○会議に付した事件

議事日程のとおり

## ○議長（上野伸五）

これより令和2年第4回飯塚市議会臨時会を開会いたします。

会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日から7月27日までの7日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は本日から7月27日までの7日間とすることに決定いたしました。

「議案第86号 令和2年度 飯塚市一般会計補正予算（第6号）」、「議案第87号 令和2年度 飯塚市学校給食事業特別会計補正予算（第2号）」及び「議案第88号 契約の締結（飯塚市新体育館等建設（空調設備）工事）」、以上3件を一括議題といたします。提案理由の説明を求めます。副市長。

## ○副市長（梶原善充）

ただいま上程されました議案のうち、まず予算関連議案から提案理由の説明をいたします。

なお、今回の予算議案は全て新型コロナウイルス感染症対策に要する経費を補正するものでございます。「一般会計・特別会計補正予算書」によりご説明いたします。

7ページをお願いいたします。「議案第86号 令和2年度 飯塚市一般会計補正予算（第6号）」につきましては、第1条で既定の予算総額に11億1715万8千円を追加いたしまして、歳入歳出予算の総額を896億538万4千円にしようとするものでございます。なお、内容の説明につきましては省略させていただきます。

19ページをお願いいたします。「議案第87号 令和2年度 飯塚市学校給食事業特別会計

補正予算（第2号）」につきましては、第1条で既定の予算総額に1652万8千円を追加いたしまして、歳入歳出予算の総額を14億7910万7千円にしようとするものでございます。内容の説明につきましては省略させていただきます。

以上で、予算関連議案の説明を終わり、続きまして、予算関連議案以外の議案について説明いたします。

「議案書」3ページをお願いいたします。「議案第88号 契約の締結」につきましては、飯塚市新体育館等建設工事の空調設備について、筑豊冷機・内山空調特定建設工事共同企業体と4億5297万6700円で請負契約を締結するものでございます。

以上、簡単ですが、提案理由の説明を終わります。

○議長（上野伸五）

ただいまより議案に対する質疑を受けますが、質疑される議員におかれましては、秩序正しく能率的な審議を行うため、会議規則第51条に基づき、簡明な質疑を行っていただきますようお願いいたします。また、質疑が長時間に及ぶ場合には、会議規則第52条に基づき、議長において質疑の回数を制限させていただくことがありますので、あらかじめご了解願います。

質疑はありませんか。7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

補正予算資料の衛生費の保健衛生総務費に出ております「新型コロナウイルス感染症を『正しく恐れ、正しく予防する』ための市民向け啓発パンフレット、『十分な手洗い』について周知啓発するためのハンドソープを配付」とありますが、このパンフレットはどのように監修するのか、決まっていればお示してください。

○議長（上野伸五）

市民協働部長。

○市民協働部長（久家勝行）

このパンフレットにつきましては、感染予防対策の基本である「うつらない、うつさない、広げない」というようなことをモットーにつくるといことで考えております。監修につきましては、専門の感染症の医師の先生をお願いをして、監修を受けた上で発行するということと考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

もう少し詳しく教えていただきたいんですけど、その専門の医師は飯塚市に在住の方なのか、それとも全国にいらっしゃる方なのか、教えてください。

○議長（上野伸五）

市民協働部長。

○市民協働部長（久家勝行）

今、想定いたしておりますのが、市内の病院の専門の先生でございます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

わかりました。それから全戸配付が6万5千世帯見込みとありますが、実際の飯塚市の全戸数は、最近のところで一番正しい戸数がわかればお示してください。

○議長（上野伸五）

環境対策課長。

○環境対策課長（小村慎次）

最新の状況で6万2409世帯となっております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

かなり6万5千世帯と6万2400世帯だと約2600くらい差がありますが、どうしてそのくらい差を大きくしたのか、理由があればお示してください。

○議長（上野伸五）

環境対策課長。

○環境対策課長（小村慎次）

住基以外の方で居住されている方もいらっしゃいますので、その分も考慮して若干多めに予算を確保しております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

パンフレットはいいんですが、ハンドソープがあります。このハンドソープは、単価を計算しますと440円ぐらいになるのではないかなと計算しましたが、そのハンドソープはどのような種類を考えているのか、また、業者をどのように選定するのか、決まっていればお示してください。

○議長（上野伸五）

健幸・スポーツ課長。

○健幸・スポーツ課長（瀬尾善忠）

ハンドソープにつきましては、プッシュ式のハンドソープを想定いたしております。選定方法につきましては、今検討しているところでございます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

ハンドソープと言っても、かなりいろんな種類があると思うんですね。赤ちゃん用とか、敏感肌用とか、そういうふうにするのかどうかということをお示してください。

○議長（上野伸五）

健幸・スポーツ課長。

○健幸・スポーツ課長（瀬尾善忠）

種類がさまざまございます。その中で適した物について、選定したいと考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

適した物と言っても、大変難しいのではないかなと思うんですね。無香料の物とか、いろんな化学物質が入っていない物とか、かなりいろいろ考えないと難しいし、6万5千戸分を用意するとなると大変ではないかと思いますが、その選定方法などを、もう少し具体的に決まっていればお示してください。

○議長（上野伸五）

市民協働部長。

○市民協働部長（久家勝行）

現在の選定につきましては、あくまでも薬用というところで考えています。これは感染症対策の啓発ということで、手洗い励行ということをお示しという趣旨がございまして、あくまでも薬用のハンドソープということで、これから選定をしていくということになります。

す。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

すみません、先ほどのパンフレットに戻りますが、この印刷製本はどのように選定するのか、決定していればお示してください。

○議長（上野伸五）

市民協働部長。

○市民協働部長（久家勝行）

入札でございます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

次に行きますが、環境対策費の衛生啓発事業費として、「エコバッグの活用が増加傾向にあり、衛生的な使用をしてもらうための洗い替え用として、エコバッグ（飯塚市オリジナル）を配付」する予定ということで、これは7321万6千円を予定されておりますが、単価として6万5千世帯で計算すると約1126円の物になると思いますが、そのエコバッグの大きさ、色、材質、また保冷ができるかどうか、また飯塚市オリジナルとありますが、そのデザインをどのようにして決めているのか、決まっていればお知らせください。

○議長（上野伸五）

環境整備課長。

○環境整備課長（大庭敏一）

現在、その商品はまだ決まっておりませんが、使い勝手のよいエコバッグを作成し、飯塚市オリジナルデザインなどの印刷を行い、各世帯に配付を予定しているものです。エコバッグは2種類を現在予定しております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

これもハンドソープと同じように、かなり選ぶことがありますよね。いろんなエコバッグ、種類が、大きいとか、小さいとか、それが選べるかどうか、色も含めて検討されているかどうか、お知らせください。

○議長（上野伸五）

環境整備課長。

○環境整備課長（大庭敏一）

市民の方への種類の選択はできないというふうな形で、こちらのほうで物は、内容については決めさせていただきたいというふうに考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

エコバッグが2つ合わせて1126円というのは、私は相当高いものだというふうに考えます。100円ショップとかでもありますし、今ではいろんなところでエコバッグがついてくるんですけども、何でそのエコバッグを選定したのか、その理由をお知らせください。

○議長（上野伸五）

環境整備課長。

○環境整備課長（大庭敏一）

令和2年7月1日からプラスチック製買い物袋、いわゆるレジ袋でございますけれども、こちらの有料化に伴い、現在エコバッグの需要が増加しつつあります。しかし一方では、エコバッグの衛生面から新型コロナウイルス感染症等の広がりを懸念する声もございます。各家庭においては、洗いがえを含む複数枚のエコバッグを備えていただくことで、この問題を解決できるのではと考え、各世帯における財政負担の一助を含め、本事業の予算計上を行ったものでございます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

エコバッグは、それぞれ好みとか、大きさとか、必要なものがあると思うので、選ぶのはかなり難しいのではないかなと、私の考えなんです。すみません。では、この業者はどのように決めているのか、その過程がもしわかれば教えてください。

○議長（上野伸五）

環境整備課長。

○環境整備課長（大庭敏一）

入札により事業者を決定したいと考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

それでは、次の指定ごみ袋配付事業費というふうになってありますが、「テイクアウト利用等による家庭ごみ増加の負担軽減のため、指定ごみ袋（可燃（中））を1世帯あたり2巻配付」とあります。実際これは、ごみ袋の中というのは440円なんですけど、単価で計算したら120円ぐらいになるのではないかと思います。これは原価ということよろしいでしょうか。

○議長（上野伸五）

環境対策課長。

○環境対策課長（小村慎次）

はい、そのとおりでございます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

可燃ごみ袋（中）にした根拠をお示してください。

○議長（上野伸五）

環境対策課長。

○環境対策課長（小村慎次）

現在、家庭系可燃ごみ袋販売の中で、中の袋が最も需要があることと、大の袋を利用してこられた方が中の袋を利用させていただくことで、コロナ安定後にごみの減量化も考えていただければと考え、中の袋といたしました。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

これもハンドソープ、エコバッグと同じように、やっぱり選ぶんですね。体が不自由な方とか高齢者の方というのは、中でさえ重たいと言われているので、だから自分は小を毎回買っていますという方もいらっしゃるんですけど、その方たちに、例えば中を渡していますけれど、小でも変更は可能ですよということを考えられたかどうか、お示してください。

○議長（上野伸五）

環境対策課長。

○環境対策課長（小村慎次）

6万5千世帯分のごみ袋を発注するとなると、途中から変更ができませんので、もう中の袋と決めさせていただいて発注させていただいたところです。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

飯塚市には1人世帯などの方がいらっしゃいますが、その方たちはどの袋を一番使われているのかわかりますか。

○議長（上野伸五）

環境対策課長。

○環境対策課長（小村慎次）

申しわけありません。そのあたりは把握しておりません。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

ごみの削減を考えている方は、私と同じような世帯の方でも、小をわざわざ使っている方も多くいらっしゃいます。その方にやっぱり中を配るというのは、やはり抵抗があるのではないかな私は考えておりますが、結局、配る物はリーフレット、ハンドソープ、エコバッグ、ごみ袋2巻。これをどのように配付するのか、その計画があればお示してください。

○議長（上野伸五）

環境対策課長。

○環境対策課長（小村慎次）

指定ごみ袋配付事業に加え、環境対策費で補正予算計上していますエコバッグ及び保健衛生総務費の市民向け啓発パンフレット、ハンドソープの配付方法につきましては、まちづくり協議会と地域の団体に配付をお願いしたいと考えており、負担金として補正予算計上をさせていただいております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

配付で1950万円を予定されていると思うんですが、これを6万5千世帯で割ると、1世帯当たり約300円になりますよね。この300円をまちづくり協議会にどのように渡していくのか、それは考えられていますか。

○議長（上野伸五）

環境対策課長。

○環境対策課長（小村慎次）

一世帯当たり300円で6万5千世帯で1950万円の予算を計上しておりますが、各地区への配付の方法につきましては、今後協議していくこととしております。

（発言する者あり）

○議長（上野伸五）

環境対策課長。

○環境対策課長（小村慎次）

一世帯300円を基準として計算しておりますが、各地区への配付金については、今後協議していくこととしております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

まちづくり協議会から、まだどのようにするか、まちづくり協議会が決めるという認識でよろしいのでしょうか。

○議長（上野伸五）

まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（小川敬一）

配付方法等につきましては、まちづくり協議会のほうで、今後、協議、調整をしていきたいというふうに考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

まちづくり協議会の多くのメンバーが自治会長だと思んですが、自治会に加入されていない方の配付については、どのようにお考えでしょうか。

○議長（上野伸五）

まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（小川敬一）

自治会未加入世帯につきましても、まちづくり協議会の構成団体、参画団体と連携しながら、加入世帯、未加入世帯を問わず、一体的に連携して配付をしていただきたいというふうに考えています。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

簡単に言うけど、大変な量だと思うんですよ。リーフレット、ハンドソープ1つ、エコバッグ、ゴミ袋2つ、恐らく買い物の小さい袋ぐらいがいっぱいになるようなものだと思います。それをいつ、どの段階で、誰が仕分けをするのかとか考えられていますか。

○議長（上野伸五）

まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（小川敬一）

質問議員言われますように、そこら辺の数また量的な部分につきましても、各まちづくり協議会のほうで、分担作業とかいう部分も含めて、今後協議をしていきたいと、この議会で議決をいただいた後に、詰めた協議をしていきたいというふうに考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

すみません、では、このリーフレット、ハンドソープ、エコバッグ、ゴミ袋はそれぞれいつ納入される予定でしょうか。

○議長（上野伸五）

環境整備課長。

○環境整備課長（大庭敏一）

現在のところ、9月末を目途に調整を図っているところでございます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

かなりこれは大きな物を最終的には渡していくんですけど、一番最後はそれぞれの家庭の玄関で手渡しするんですか、それとも置いておくというイメージなんですか。

○議長（上野伸五）

まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（小川敬一）

手渡しするのが一番仕事としてはよろしいかと考えていますが、その点につきましても、留守の家庭とか、そういう分につきましては、今後、まちづくり協議会、また参画団体と調整を進めてまいりたいと考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

もともとまちづくり協議会から上がったものではなくて、市がある意味まちづくり協議会にお願いをするという形ですよ。そうすると、ある程度のイメージがないと、かなり混乱されるように感じるんです。ここで言ったら、これとこれといいねと思うんですけど、本当はものすごく、一人一人に最後どうやって渡すかというところまで具体的に考えておかないと、余ってしまったたり、例えば不在だったときにどうするかというところまでしないと、配っている人たちが大変混乱すると思いますので、具体的な、細かい配り方というのは、まちづくり協議会だけで判断するのか、それとも市がある程度細かく算定されるのか、その辺をもう少し、それぞれやっぱりマンションが多いところもあれば、ぽつんと一軒家もあると思うんですよ。それにどのようにするというのを、かなり具体的に考えていかないと、6万5千世帯で、実は6万2409世帯か、2600世帯分はもしかしたら余るかもしれないんですよ、ハンドソープも。その辺をどういうふうに考えているのか、もう少し具体的に考えているのであれば、配付方法についてお示してください。

○議長（上野伸五）

まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（小川敬一）

質問議員言われますように、手法につきましてはいろいろ考えられるというふうに認識しております。まちづくり協議会の中には自治会を含めた参画団体も参画されています。そういった参画団体の意見もお聞きしながら、また当然これはまちづくり協議会に押しつけるということではございませんので、当然、我々職員も一緒になりながら、各地区の実態を的確に把握して、各世帯に配付できるような形の部分を調整していきたいというふうに考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

最後に、この問題に関して、確かにハンドソープ、エコバッグ、ゴミ袋って生活必需品ではありませんけど――。

○議長（上野伸五）

金子議員、質疑にあたっては自己の意見を述べることができないこととされておりますので、ご自身のご意見はどうぞ討論で述べていただくようお願いいたします。質疑があればお願いします。

○7番（金子加代）

1億円ぐらいかかるんですけど、その1億円かかる意義をお示してください。

○議長（上野伸五）

市民協働部長。

○市民協働部長（久家勝行）

今回の物につきましては、あくまでも新型コロナウイルス感染症対策のいわゆる予防ということを念頭に置いてやっていきます。当然私どもが一番心配しているのは、第2波が来るというこ



と、その第2波をいかに小さくおさめるかということでございます。今回のこれらの事業についても、その1つとなるということで、私どもも考えてやっておりますので、それ相当のお金については必要なものだということで考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

それでは、次に予防費、これも同じく約1億220万円かかるんですが、この分の19歳以上64歳以下で医師に重症化のおそれがあると診断された者というのは、誰がどのように決めるのか、お示してください。

○議長（上野伸五）

健幸・スポーツ課長。

○健幸・スポーツ課長（瀬尾善忠）

この分につきましては、基礎疾患で今病院にかかられている方を考えております。その際、主治医の判断にお任せするというで考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

この1億220万円は、一人一人の助成金額と、1人に対する助成金、すみません、助成金額と、どのくらいの人数を助成しようかと考えているのか、お示してください。

○議長（上野伸五）

健幸・スポーツ課長。

○健幸・スポーツ課長（瀬尾善忠）

予防接種1回につき2千円を想定いたしております。対象者数といたしましては、5万1100人を想定いたしております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

5万1100人の根拠はありますか。

○議長（上野伸五）

健幸・スポーツ課長。

○健幸・スポーツ課長（瀬尾善忠）

対象といたしましては、妊婦、それと13歳未満、それと13歳以上18歳以下、19歳以上64歳以下で基礎疾患のある方というふうにグループを想定いたしてございまして、それぞれ人数でございますが、妊婦が1千人、13歳未満が1万5千人、13歳以上18歳以下が6700人、19歳以上64歳以下の基礎疾患のある方が1万3千人、60歳未満で重症化のおそれのある方が400人という形で想定をいたしております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

このインフルエンザの予防の中に、例えば医療関係とか福祉関係の方に助成をするという考えはございませんでしたか。

○議長（上野伸五）

健幸・スポーツ課長。

○健幸・スポーツ課長（瀬尾善忠）

今回、この予防接種助成については、医療従事者の方について想定はいたしておりません。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

わかりました。次の健康づくり推進費としまして、母子保健事業費の中で「テレビ電話等SNSを活用した保健指導・健康教室開催のためのWeb会議システムの構築」とありますが、パソコン端末5台、タブレット端末5台、Web会議ライセンス1台、Webカメラ5台、スピーカー5台というふうに、大体5台となっている。プロジェクター2台、スクリーン2台とありますが、この5台となった根拠は何でしょうか。

○議長（上野伸五）

健幸・スポーツ課長。

○健幸・スポーツ課長（瀬尾善忠）

まず、この事業についてでございますが、一つが穂波支所、保健センターを起点といたしまして、それぞれ妊婦の方とか個別面談をリモートでできるような仕組みを一つつくるということが1点。もう一つでございますが、健康事業等を行うに当たって、その際にも保健センターを起点といたしまして、各交流センターであったりとか、体育館であったりとか、いろんな施設のところと、はっきり仕組みはまだできておりませんが、ズームのような双方向での健康事業、面談とかいうことを想定いたしております。その際、5つの根拠でございますけれども、ここここというところで想定はいたしておりません。交流センターであったりとか、いろんな体育館であったりとかいう、今のところ5カ所程度というところで想定をいたしましたものでございます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

大変いいと思うんですが、保健指導と健康教室、いろんな、沐浴とかあっていると思うんですが、もう少しどのように計画するのか考えてあれば、お示ください。

○議長（上野伸五）

健幸・スポーツ課長。

○健幸・スポーツ課長（瀬尾善忠）

今想定しているものといたしましては、現在行っている事業として、マタニティ教室、両親学級、それと育児相談というところは、今行っている事業として、それをこういう形で実施を併用する形で行いたいと考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

すみません。今これが、1つ前のページ、補正予算資料4ページのほうの児童福祉総務費の中に同じような項目がありました。家庭児童相談事業費としてテレビ電話等SNSを活用した児童虐待・DV等相談支援体制の構築にかかるスマートフォン端末、タブレット端末というふうになりますが、これはどのように計画するのか、計画があればお示ください。

○議長（上野伸五）

子育て支援課長。

○子育て支援課長（長尾恵美子）

こちらの事業につきましては、新型コロナウイルス感染症感染防止に配慮した相談支援体制の構築強化を図ることを目的としておりまして、実際に今回スマートフォンとタブレットを購入することとしております。テレビ電話を活用した相談支援や、児童相談所等のオンライン会議を想定しております。また、スマートフォンに関しましては、若い方はSNSの利用が大変多いと思われまますので、若い方にも相談をしやすいような体制をつくりたいと考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

先ほどの母子保健の事業に比べたら、とても少ないのではないかなと思うんですけど、何かもう少し詳しく、どんなふうにご相談するのかがあればお示してください。この事業でこうやりたいとか、抱負みたいなものがあれば。

○議長（上野伸五）

子育て支援課長。

○子育て支援課長（長尾恵美子）

具体的にとなりますと、現在、携帯電話を活用しておりますけれども、顔を見せての対応、相談体制にはなっておりませんので、実際、相談者と相談を受ける者が顔を見せ合って相談を受けるといったことを想定しております。タブレットにつきましても、庁舎内で利用する際には、タブレットを使って児童相談所等の会議、これからコロナがどうなるかわかりませんが、会議とかができなくなるようなことも想定されますので、活用しようと考えております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

先ほどのページの労働費のほうに行きまして、こちらの再就職応援事業費とありますが、その中で、求職者向けで追加10名、学生追加が28名ありますが、具体的にどのような就職というか、お仕事をされているのか、わかれば教えてください。

○議長（上野伸五）

経済対策室長。

○経済対策室長（長谷川司）

現在の5名につきましては、今、就労支援、研修、インターネット研修等を行っているものでございます。5名予算化しておりましたが、5名が今、職業訓練等を行っておりますので、追加をするものでございます。また、学生につきましては、今後、大学の授業スケジュールにより、7月以降、ひとり暮らしの大学生が戻ってくるため、学生数の増に伴って需要がふえるのではないかとということで追加をしたものでございます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

学生にはどんな仕事というか、アルバイトというか、をしてもらっているのか、わかれば教えてください。

○議長（上野伸五）

経済対策室長。

○経済対策室長（長谷川司）

市の支援業務の支援、事務支援とか、あるいはつなぐカフェでの事務支援というところを、今大学生にやってもらっているところでございます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

では、すみません。この教育費なんですけど、教育費の中で小学校で消耗品費が422万7千円、それから同じ消耗品で中学校は689万6千円というふうにありますけど、これはどのように使うのか、お示してください。

○議長（上野伸五）

学校教育課長。

○学校教育課長（山下弘喜）

この小学校、中学校の消耗品につきましては、特にプリント教材等が多くございましたので、その紙使用代として使わせていただきます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

よく聞こえなかったのですが、紙を使うからその紙代として使うということですか。

○議長（上野伸五）

学校教育課長。

○学校教育課長（山下弘喜）

はい、そのとおりでございます。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

それから、教材備品として小学校では978万2千円、それから中学校では1100万円、これが上がっていますが、これがデジタル教材ということですが、その内訳を詳しく教えてください。

○議長（上野伸五）

学校教育課長。

○学校教育課長（山下弘喜）

デジタル教材とは教科書に準拠しました学習教材でありまして、文字や図に対して拡大し、附箋等をつけられまして、視覚的に子どもに訴えることができますし、また、動画や音声を通して、子どもが聞くことによって学習する教材でございます。また、図形や統計グラフ等を紙ではなくて、移動しながら説明することができまして、児童生徒の思考、判断、表現力を育ませるためにも、非常に有効な教材となっております。内訳につきましては、小学校5、6年生の国語、社会、理科、英語、中学校に関しましては、社会、数学、国語の購入となっております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

ということは、5、6年生の国語、社会、英語で、中学校はよく聞こえなかったんですけど、社会とか何か教科があって、一学年に幾ら使うのではなくて、5、6年生と中学校の1、2、3年生が対象だというふうに考えていいということでしょうか。

○議長（上野伸五）

学校教育課長。

○学校教育課長（山下弘喜）

ただいま電子黒板が導入されていますのが、小学校が5、6年生、中学校が全学年となっておりますので、その学年に対しましてデジタル教科書を購入しております。

○議長（上野伸五）

7番 金子加代議員。

○7番（金子加代）

最後に一つ、修学旅行追加費用補助事業という費用がありますが、この修学旅行にかかる密防止対策追加費用の内訳をお知らせください。

○議長（上野伸五）

学校教育課長。

○学校教育課長（山下弘喜）

修学旅行の密防止に関しましては、貸し切りバスの密を防ぐこと、それと宿泊室の密を防ぐために、バスに対しては増加、部屋に対しても増室を考えております。

○議長（上野伸五）

ほかに質疑はありませんか。27番 道祖 満議員。

○27番（道祖 満）

第7款、商工費、商工業振興費についてお尋ねいたします。今回、新しい生活様式対応事業者応援事業費とテナント入居事業者事業継続応援事業費というのが計上されておりますけれども、これの受け付け期間と手続はどのようになっておるのか、お尋ねいたします。

○議長（上野伸五）

経済対策室長。

○経済対策室長（長谷川司）

新しい生活様式対応事業者応援事業につきましては、対象期間が令和2年4月7日から令和2年8月31日までを対象期間といたしております。また申請期間につきましては、令和2年8月3日から令和2年9月30日までを申請期間といたしております。続きまして、テナント入居事業者事業継続応援事業につきましては、申請期間につきましては、令和2年8月3日から令和2年9月30日までを予定いたしております。

○議長（上野伸五）

27番 道祖 満議員。

○27番（道祖 満）

これは対象の期間と、それと申請の期間の答弁がっておりますけれども、これは申請すれば、即給付されるものなんですか。

○議長（上野伸五）

経済対策室長。

○経済対策室長（長谷川司）

申請を受け付けまして、決定通知はなるべく早急にお出したいと考えておりますが、決定通知を出してから3週間以内に支給を行いたいというふうに考えております。

○議長（上野伸五）

27番 道祖 満議員。

○27番（道祖 満）

第2回臨時会の際に、専決の補正予算で事業継続応援給付事業費、これ、1件当たり30万円というやつが計上されて、5月いっぱい受け付けがなされたと思うんですけど、この際に信用組合の保証がいるというふうに聞いておりましたけれども、そのような手続が今回もあるのでしょうか。

○議長（上野伸五）

経済対策室長。

○経済対策室長（長谷川司）

新しい生活様式対応事業者応援金につきましては、対象経費といたしましては空気清浄機、あるいは体温計などの新しい生活様式を取り入れた経費を対象としておりますので、そういった領収書等が必要になってくるようなことになっております。また、テナント入居事業者事業継続応援事業につきましては、テナント入居ということを条件としておりますので、そういった賃貸借契約書は条件としておりますが、保証協会等々の手続というか、承認というものにつきましては必要とはしていません。

○議長（上野伸五）

27番 道祖 満議員。

○27番（道祖 満）

先ほどお尋ねいたしました事業継続応援給付事業費を受けている人たちも、これの対象になるのでしょうか。

○議長（上野伸五）

経済対策室長。

○経済対策室長（長谷川司）

対象となるように考えております。

○議長（上野伸五）

27番 道祖 満議員。

○27番（道祖 満）

事業継続応援給付事業費、申請されて信用組合の保証等があるということで、保証協会の保証が、申請しているけれども通らなくて、給付がまだされてないという話も聞きますけれど、給付されてないところも申請してということになってくると、事業継続応援金がもらえないのに、これが先にもらえるのかどうかとかいうこともあるかと思いますが、実際、事業継続応援給付事業費が目的どおりに給付されておるのかどうか、完全に申請されたところに対して、どれだけ実行されておるのか、これは議案とは若干違いますけれど、そのところをきちっと委員会のほうで確認していただきたいと思います。やはり今コロナで売り上げが達してないということで、市の手続に従って申請しながら、いまだ7月になっても、給付されてないという実態があるというふう聞いておりますので、このことについて、いかがなものかと私自身は考えておりますので、委員会のほうにあわせもって、今回の新しい生活様式対応事業者応援事業費と絡めながら審議をしていただきたいと、審査要望いたしたいと思います。議長、よろしく取り計らいをお願いいたします。

○議長（上野伸五）

ほかに質疑はありませんか。8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

補正予算（第6号）になるわけですがけれども、補正規模が約11億1715万円。こうした中で、複合危機対策の一つの柱、消防費が6711万9千円ということなんですけど、非常に少ないように思います。避難所パーテーション1830台、どういうふうに活用する考え方ですか。

○議長（上野伸五）

防災安全課長。

○防災安全課長（白石善彦）

このパーテーションにつきましては、避難者のプライバシー保護、あと、いろんなコロナ対策及び感染症対策により、避難所に各100台から200台配備して、感染症に対するものとするとしております。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

100台から200台というと、200台の場合だと9カ所、100台の場合だと18カ所、そういう配置の仕方を考えているんですね。

○議長（上野伸五）

防災安全課長。

○防災安全課長（白石善彦）

すみません、説明が間違っておりました。配備としましては各地区で100台から200台でいきますので、避難所でいきますと場所にもちよっとよりますけれども、何十台かは指定避難所、指定緊急避難場所に配備していきたいと思っております。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

大型の夏台風とか来ますよね。間もなく来ると思います。そうした中で、避難所でどのくらいの方が来るのか、また来てもらうのか、そういうシミュレーションが今の話ではないのではないかと心配しました。簡易ベッド150台というのは、どういうふうに考えていますか。

○議長（上野伸五）

防災安全課長。

○防災安全課長（白石善彦）

簡易ベッドにつきましては、基本、要配慮者や避難の長期化した人用で、体の負担を減らすため適度なクッション性のあるものを、各避難所に2台から3台、配備していきたいと思っております。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

どういう物ですか。段ボールベッドのことではないんですか。

○議長（上野伸五）

防災安全課長。

○防災安全課長（白石善彦）

今回、購入しようと考えている物は、アルミフレーム製の抗菌でクッション付きのベッドを購入する予定にしております。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

諸外国の例を言うまでもないと思うけれども、きちんとしたパーテーションがあって、そして床の上には寝ないですよね。床の上に横たわるといえることはないです、新型コロナ対策で。150台とかいうのは、それはそれでちょっとグレードが少しいいんでしょうからいいけど、この避難者全員のための段ボールベッド、段ボールでなくてもいいんだけど、避難者全員のための物というのは、どういう検討をしたんですか。

○議長（上野伸五）

防災安全課長。

○防災安全課長（白石善彦）

各避難所に配備することになれば、ちょっと、収納するスペース等もちょっとありますので、とりあえず今回につきましては、伸縮できて収納スペースをとらない、クッション性の高い物を選んでおります。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

とりあえずというのは、今言われたような条件が整えば、避難者全員に対応できる段ボールベッドを整備してくれますか。

○議長（上野伸五）

防災安全課長。

○防災安全課長（白石善彦）

この分につきましては、購入してから今後検討していきたいと思っております。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番 (川上直喜)

あした夏の大型台風の卵が発生するかもしれないわけでしょう。あなたの言う今後というのが、あした、きょうというスピード感のあるものであるべきだと思います。

それから防護服一式300式というのは、どこでどのように使うものですか。

○議長 (上野伸五)

防災安全課長。

○防災安全課長 (白石善彦)

防護服につきましては、指定避難所及び指定緊急避難場所71カ所に約4式ずつ配備するものとしております。これは新型コロナ対策が、もし発熱した場合とか、そういう想定の中で使いたいと思っております。

○議長 (上野伸五)

8番 川上直喜議員。

○8番 (川上直喜)

指定避難所に4セットですか。それは誰が使うんですか。

○議長 (上野伸五)

防災安全課長。

○防災安全課長 (白石善彦)

今想定しているのは、避難所を運営している職員でございます。

○議長 (上野伸五)

8番 川上直喜議員。

○8番 (川上直喜)

約11億円の予算のうち、消防費を6700万円程度に抑えるという発想から、この補正予算を編成したのではないかと思うくらいの、ちょっと非常に脆弱な、今度、第2次臨時交付金は14億5千万円来ているんでしょう。それで、お尋ねですけど、東京の状況なども見て、今回の補正予算(第6号)、編成の考え方、どういう考え方で編成したのかお尋ねします。

○議長 (上野伸五)

財政課長。

○財政課長 (落合幸司)

これまで市の財源、国県支出金などの財源を活用しまして、感染拡大防止、市民生活の維持と小規模事業者・個人事業主の事業継続と雇用の維持の応援、緊急事態宣言解除後は、新型コロナウイルス感染症の存在を前提とした市民生活の再開と地域経済の回復を目指した予算を編成しております。

○議長 (上野伸五)

8番 川上直喜議員。

○8番 (川上直喜)

飯塚市議会6月定例会が終了し、通常国会も閉会すると。その直後から、今皆さんが御承知のとおりのような重大事態に今なっているわけです。こうした中で安倍晋三首相が「Go Toキャンペーン」にこだわるから皆びっくりしているんだけど、ちょうど、まさにそのときに、あなた方はこの補正予算の編成に当たったはずなんです。どういう経過でまとめ上げたのか、経過をお尋ねします。

○議長 (上野伸五)

財政課長。

○財政課長 (落合幸司)

先ほども答弁させていただきましたけれども、予算編成の方針に基づきまして要求がありまし



て、それを財政課のほうで査定して予算編成をいたしております。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

あなた方がこの補正予算（第6号）を議会運営委員会に提出したその日かな、国会では参議院予算委員会閉会中審査が行われたでしょう。7月16日、木曜日。そこで、あなた方は聞いていると思うけど、東大先端科学技術研究センターの児玉龍彦先生が、冒頭から衝撃的な発言をされたでしょう。私はきょう極めて深刻な事態を迎えつつある東京のエピセンター化、感染震源地のことでしょう。という問題に関して全力を挙げての対応をお願いしたくてまいりました。さらに、やりとりの中で、来週は大変になると。もう今週、来週なんですよ。来週は大変になる。来月は目を覆うようなことになると。そういう危機感を表明された。そのときにも第6号、この補正予算はでき上がってしまっているわけです。だから経過を聞いた。この第6号が新たな局面を迎えつつある中で、どこまで対応できるものになっているかというのを知りたかったんですね。それで、新型コロナ対策に関する市の財政出動の考え方、私は非常に腑に落ちない。第2次臨時交付金が約14億5千万円が来ているのに、今回の補正は11億2千万円足らずでしょう。どういう考え方で市の財政出動を考えているのかお尋ねします。

○議長（上野伸五）

財政課長。

○財政課長（落合幸司）

今回の一般会計補正予算（第6号）だけを見れば、14億5千万円程度の地方創生臨時交付金を予算計上しております。歳出予算としましては、11億1700万円程度の予算を計上いたしております。しかし、予算につきましては、当初予算に補正予算を順次加算したものが、現時点での予算総額ということになりますので、令和2年度の新型コロナウイルス感染症対策に係る予算総額としましては、約203億9千万円の予算を計上いたしております。その予算の財源としましては、先ほど申しあげました地方創生臨時交付金の配分通知額の合計額約19億5千万円となりますけれども、これを活用し、ほかの財源等も活用いたしまして、市の一般財源、財政調整基金繰入額の総額としましては、現時点で約15億円という結果になっております。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

新型コロナ対策で200億円を越すというけれども、皆さん多分10万円もらったでしょう。これ掛ける飯塚市民の人数ですから、大半はこれなんですよ。今おっしゃったけど、国の第1次臨時交付金が約5億円でしょう。第2次が今言っているように14億5千万円でしょう、合わせて19億5千万円が来ているわけ。飯塚市の独自に使ったお金というのは、今回の補正までで幾らになりますか、市独自施策で使ったお金。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員に申し上げます。議案に対する質疑をお願いします。

○8番（川上直喜）

うん。議案よ。

○議長（上野伸五）

議案に対する質疑、この議案に対する。8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

補正予算（第6号）までに、新型コロナで市独自対策予算をどれぐらい使ったかという質問ですから、議案そのものの質問ですので、速やかに答弁してください。

○議長（上野伸五）

議案に対する質疑をお願いします。今までの経緯ではなくて、この議案に対する質疑をお願いします。8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

今は金額を聞いているんですよ。聞こえているでしょう。

○議長（上野伸五）

この議案に対する金額で――。

○8番（川上直喜）

この議案というのは、補正予算（第6号）でしょう。

○議長（上野伸五）

補正予算（第6号）に対する金額でいいですか。

○8番（川上直喜）

そうですよ。

○議長（上野伸五）

財政課長。

○財政課長（落合幸司）

補正予算（第6号）までの予算の総額としまして、市独自の新型コロナウイルス感染症対策予算としまして、約60億円計上いたしております。この中には融資制度の預託金や地域活性化応援券の換金原資などの財源も含んでおりますので、それを差し引きますと約27億8千万円、この額に先ほどから申し上げております地方創生臨時交付金約19億5千万円を活用することができますので、現時点では約8億3千万円の一般財源、財政調整基金の繰入金を活用して予算編成しているということになります。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

8億3千万円、わかりました。

それで、補正予算書の小学校費、中学校費の中に教育振興費がありますね。先ほど質問で既に出ておりますけれども、学習保障の考え方としては、どういう考え方で今度の補正を出したのか、予算計上したのか、お尋ねします。

○議長（上野伸五）

学校教育課長。

○学校教育課長（山下弘喜）

今回出しましたデジタル教科書に関しまして説明します。本来なら授業日数等の関係で、ぎりぎりの日数だったんですが、それを十分に補うためにデジタル教科書を使うことによって、教師側も生徒側も学習の進捗状況が進むような形で導入を取り入れております。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

授業日数の確保とかいうこととの関係で、予算計上は何か検討していないんですか。夏休みの考え方とか。

○議長（上野伸五）

学校教育課長。

○学校教育課長（山下弘喜）

本来なら夏休みとしましては40日ありますが、今回の臨時休業がありましたので、夏季休業期間を18日と縮めまして、学習の保障、学びの保障を進めてまいっておるということです。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員。

○8番 (川上直喜)

地元のお菓子を食べてもらって、子どもに元気を、激励するとかいうのもいいけど、3カ月、4カ月おくれた分を一気に取り戻そうとかすると、子どもの心と体と、教職員の心と体に、大変なひずみが生じてくる危険性はないかと。それに対応する予算の計上というのは、今の話ではないということですね。子どもの心の問題が随分指摘されています。スクールカウンセラーだとか、担任の先生が一番大事かもしれませんが、何か人的な対応についての検討は今回してないですか。

○議長 (上野伸五)

学校教育課長。

○学校教育課長 (山下弘喜)

今回の文科省の第2次の緊急対策パッケージの中に、学びの保障というものがあまして、その中にスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの加配の支援策が出ておりますが、これは県費のカウンセラーに対するものであまして、市のカウンセラーは対象外となっております。また、筑豊教育事務所には8名のカウンセラーが配置されておりますが、年間140時間ありまして、プラスアルファで働いてもらうには時間の確保ができてないし、またカウンセラーも確保できておりませんので、現在、飯塚市につきましては、ただいまおります5名のカウンセラーと2名のスクールソーシャルワーカーで賄うことができております。

○議長 (上野伸五)

8番 川上直喜議員。

○8番 (川上直喜)

子どもはもちろんですけど、誰も経験したことのない時代を今生き抜いているわけですよ。最大限の寄り添いをするために最大限の予算措置が必要ではないかと思ったわけです。それで、もう一つの観点としては、学校の安全、感染防止の考え方、どういう考え方をして、どういう予算措置をしたのか、しないのか、お尋ねします。

○議長 (上野伸五)

川上議員、どの項目に対しての答弁を求められているのですか。8番 川上直喜議員。

○8番 (川上直喜)

私は、小学校費と中学校費の教育振興費について予算計上があったんだけど、どういう考え方でこの予算を計上したのか、あるいは見送ったのがあるかもしれない。そのところをお聞きしているんです。

○議長 (上野伸五)

見送った分につきましては、皆さん大変それぞれに思いがあると思いますので、計上した経緯を答弁させますけど、それでよろしいですか。学校教育課長。

○学校教育課長 (山下弘喜)

今回計上いたしましたデジタル教科書と修学旅行の追加費用の補助金について説明をさせていただきますが、まずデジタル教科書に関しましては、年間授業時数が減っている中、子どもたちの学びが保障できますように、教師もまた教材研究等で労力をかけますので、その点を解消する上でも、このデジタル教科書導入という形を進めてまいりました。また、修学旅行費に関しましては、現在、修学旅行を中止する地域等がありますが、学習指導要領等では学校行事や教育活動は校長の権限で行うことになっておりまして、子どもたちの大きな思い出を少しでも絶やすことのないよう、修学旅行が行えるような形の体制を組もうと考えながら、この計上をさせていただいております。

○議長 (上野伸五)

8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

バスの台数をふやして3密を避けることができるという考え方なんですね、それは。それを考えるのであれば、子どもたちには給食があるでしょう。パンと牛乳だけで帰らせる日もあるらしいけど、給食時における飛沫感染防止対策について、あなた方はかねてから用意している次亜塩素酸水による霧化、噴霧、こういうもので給食をとるところを消毒しようとしたり、給食をとっているときにミストを流そうと思ったり、そんなことを考えているんですか、今。

○議長（上野伸五）

川上議員、議案に対する質疑をお願いします。8番 川上直喜議員。

○8番（川上直喜）

だから、バスの3密はいいよ。避けるようにしたらいいですよ。そうしたら、毎日給食をとるんでしょ、子どもたちが。飛沫が出るでしょう、当然。マスクしたまま食事はできないじゃないですか。そういうのを予算計上しようと考えなかったのかと聞いたわけ。その背景には、ソリューション水か、次亜塩素酸水か何か霧にしたのを教室中に振りまく中でご飯を食べるのかと、そういうことを考えて特別な予算措置をしてないのかと聞いたわけですよ。

○議長（上野伸五）

8番 川上直喜議員に申し上げます。先ほどから申し上げておりますが、議案に対する質疑の内容が議題外にわたっておりますので、会議規則第51条第2項の規定により注意させていただきます。ほかに質疑があればお願いいたします。

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑を終結いたします。本案3件は議案付託一覧表のとおり、それぞれの常任委員会に付託いたします。

以上をもちまして、本日の議事日程を全て終了いたしましたので、本日はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前11時09分 散会

◎ 出席及び欠席議員

( 出席議員 27名 )

|     |      |     |      |
|-----|------|-----|------|
| 1番  | 上野伸五 | 15番 | 田中裕二 |
| 2番  | 坂平末雄 | 16番 | 吉松信之 |
| 3番  | 光根正宣 | 17番 | 福永隆一 |
| 4番  | 奥山亮一 | 18番 | 吉田健一 |
| 5番  | 土居幸則 | 19番 | 田中博文 |
| 6番  | 兼本芳雄 | 20番 | 鯉川信二 |
| 7番  | 金子加代 | 21番 | 城丸秀高 |
| 8番  | 川上直喜 | 22番 | 松延隆俊 |
| 9番  | 永末雄大 | 23番 | 瀬戸光  |
| 10番 | 深町善文 | 24番 | 平山悟  |
| 11番 | 田中武春 | 25番 | 古本俊克 |
| 12番 | 江口徹  | 26番 | 佐藤清和 |
| 13番 | 小幡俊之 | 27番 | 道祖満  |
| 14番 | 守光博正 |     |      |

( 欠席議員 1名 )

28番 秀村長利

◎ 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長 石松美久

議会事務局次長 許斐博史

議事総務係長 淵上憲隆

書記 安藤良

議事調査係長 岩熊一昌

書記 伊藤拓也

書記 今住武史

◎ 説明のため出席した者

市長 片峯誠

副市長 梶原善充

教育長 武井政一

企業管理者 石田慎二

総務部長 久世賢治

行政経営部長 久原美保

都市施設整備推進室長 山本雅之

市民協働部長 久家勝行

市民環境部長 永岡秀作

経済部長 長谷川司

福祉部長 實藤和也

都市建設部長 堀江勝美

教育部長 二石記人

企業局長 原田一隆

公営競技事業所長 浅川亮一

福祉部次長 渡部淳二

都市建設部次長 中村洋一

企業局次長 本井淳志

防災安全課長 白石善彦

財政課長 落合幸司

健幸・スポーツ課長 瀬尾善忠

まちづくり推進課長 小川敬一

環境整備課長 大庭敏一

環境対策課長 小村慎次

子育て支援課長 長尾恵美子

学校教育課長 山下弘喜